

第15回

日本通所ケア研究大会

合同開催 第12回 認知症ケア研修会in福山

11/11(金)・12(土)・13(日)

今年も充実の3日間
開催!

テーマ 2025年に向けた新しいデイ・認知症ケアへ!

デイが介護を
リードする

デイの改革・活性化で

2018年の同時改定を乗り切る!

来年は2018年の介護報酬・診療報酬の同時改定に向けた試金石!

サービスの質確保

「在宅生活」を支える
という視点の意識

効果を出すシステム

重度化予防のための
適切なケアの組み合わせ

求められる拠点機能

地域の中でなじみのある
関係性の構築

成長し続けるための

具体策を提言

大きなヒントを全24講座から探る

- ① 1年半後の同時改定に向けた最新情報
次回同時改定での軽度者(要介護1・2)外は規定路線なのか?
通所介護と通所リハの機能分化の行方は?今、自立支援の成果が問われている!
- ② 介護保険制度に求められるリハビリの位置づけ
通所介護・通所リハに求められる「活動」「参加」のリハビリテーション!
本人へのサービスだけでなく、生活環境の調整や家族・地域への教育的関わりが必須
- ③ ご利用者を支える仕組みづくり
事業所間での「目標達成」に留まらない働きかけをするためには!
デイに期待される地域での「顔の見える関係づくり」の調整役
- ④ 効果を出すための環境設定・トレーニング
ご利用者・スタッフが共に成果を共有し、手応えを感じることができる!
適切なアセスメントと疾患・様態に合わせたケア・トレーニングの工夫
- ⑤ 認知症の方の特性を生かしたサービス
ご利用者の立場に立った支援方法とは?
失敗体験による意欲低下や生活のほろろびを改善していく過程のコツを探る
- ⑥ 他サービスとの連携
通所介護×訪問介護、通所リハ×訪問リハ...などの組み合わせで生活状況を把握!
多様な地域連携による包括的ケアで介護保険サービスの可能性はまだまだ無限大

日程

2016年

11月11日(金)・12日(土)・13日(日)

会場

リーデンローズ、アルセ、まなびの館ローズコム
広島県福山市

参加費

[12・13日同時申込] 15,000円(税抄録代込み)

[12日または13日のみ] 10,000円(税抄録代込み)

その他

本大会は日本認知症ケア学会単位認定講座です
(2日間参加で認知症ケア専門士単位:3単位)
※発表者はさらに1単位がプラスされます

※「市民公開講座」は無料・大会プレセミナーは別途費用がかかります



福山市市制100周年記念事業


— ローズマインドをケアに生かす! 福山発魅力ある地域包括ケア —

後援: 福山市/社会福祉法人福山市社会福祉協議会/広島地域通所サービス連絡協議会/一般社団法人日本認知症ケア学会/公益社団法人日本介護福祉士会/公益社団法人広島県介護福祉士会
公益社団法人日本理学療法士協会/公益社団法人広島県理学療法士会/一般社団法人日本作業療法士協会/一般社団法人広島県作業療法士会/公益社団法人日本社会福祉士会
公益社団法人広島県社会福祉士会/一般社団法人日本言語聴覚士協会/独立行政法人福祉医療機構/シルバート/新報/中国新聞後本社/エフエムふくやま

大会の内容は次ページ以降をご覧ください →



本大会プログラム

11月12日(土) あなたの事業所・施設の経営・サービスの質が

	リーデンローズ	アルセ		
10:00	特別講演 1 地域包括ケアの中で デイに望まれる役割 ～リハビリ・機能訓練・地域拠点・ 家族支援のこれから～ 岡山大学客員教授 介護経営学会理事 宮島 俊彦氏			
12:00	休憩			
13:15	特別講演 2 介護保険の将来像 医療法人 博愛会・和音会 理事長 江澤 和彦氏	セミナー 1 リハビリの効果を上げる! 短時間通所リハの運営と 活動・参加に向けてプログラムの工夫 介護老人保健施設清輝苑 理学療法士 大久保智明氏	演題発表 〈募集テーマ〉 生活相談員の地域資源の発掘・ 発信・取り組み・居宅訪問など	
15:15	休憩			
16:00	特別講演 3 通所リハと通所介護の将来像 ～通所系サービスに求められる バランスのとれた効果的な リハビリテーションの推進～ 石川県立高松病院 主幹 村井 千賀氏	演題発表 デイの運営・システム・ 人材確保の取り組み	セミナー 2 実例から学ぶ! リハビリテーション会議の工夫 介護老人保健施設べあれんと 理学療法士 尾崎 大輔氏	セミナー 3 ご利用者の潜在能力を引き出し 活動・参加を改善する 通所介護計画書の立て方 ～ニーズの引き出し方から目標の立て方まで～ 株式会社NGU 代表取締役 管理者兼生活相談員 山出 貴宏氏
18:00	休憩			
18:30	参加者懇親会			
20:30				

11月13日(日)

※同じテーマの分科会・セミナーは午前・午後とも同じ内容になります。

	リーデンローズ	アルセ		
10:00		特別講演 4 次期介護報酬・診療報酬の 同時改定に向けて取り組むべき 通所介護事業者の新戦略 株式会社風の風 代表取締役 小室 貴之氏	セミナー 5 通所と訪問リハが混ざると面白い! 通所リハと訪問リハの連携だから こそできる活動・参加への工夫 通所リハビリテーションなみの風 管理者/作業療法士 下村 美穂氏	セミナー 6 通所介護計画と 個別機能訓練の立て方 ～違いと居宅支援計画との関係性～ 株式会社ジェネラス 理学療法士 デイサービス映音 管理者 梅田 典宏氏
12:00	休憩			
13:15		特別講演 5 生き残る介護事業所と なるための戦略 日本通所ケア研究会 会長 妹尾 弘幸氏	セミナー 8 認知症に対するリハビリの工夫 介護老人保健施設ゆゆうの園 作業療法士主任 牛尾 容子氏	セミナー 9 ご利用者を支える仕組みづくり ～家族支援、相談のポイント、ボランティアの育成と活用～ 未来をつくるkaigoカフェ 代表 介護支援専門員 高瀬 比左子氏
15:15				

参加無料

市民公開講座

会場：リーデンローズ

11/11(金)

① 13:30～14:30

認知症とのつきあい方を知る!～本人も家族も幸せに～
 公益社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事 高見 国生氏

② 15:00～16:10

今日から始める!「脳いきいき認知症予防」
 認定NPO法人 認知症予防ネット神戸 理事長 伊藤 米美氏

③ 16:30～17:30

認知症の介護最前線 総合介護施設ありがとう 総施設長 妹尾 弘幸氏

11/13(日)

④ 10:30～12:00

認知症と生きる
 ～若年性認知症の本人、そして家族の想い～

⑤ 13:00～15:00

**もしもに備える! 医療・介護・年金の
 ちょっと得する話** 法律事務所おかげさま 弁護士 外岡 潤氏

誰でも自由にご参加いただけます!!
 その他にもいろんなイベントを予定しています!!

グナナンとアップ！ する具体策をたっぷり提示いたします！

アルセ		まなびの館ローズコム	
		イベント ・ 介護の職場説明会 ・ 認知症サポーター養成講座 ・ 介護相談会	
		イベント 盛りだくさん！ <small>詳細は大会ホームページ</small> 通所大会 イベント	
休憩			
演題発表 〈募集テーマ〉 認知症の症状緩和の 取り組み・中重度者の 社会性の維持・家族支援	演題発表 〈募集テーマ〉 機能訓練・生活行為向上 トレーニングなど	実技分科会 A 起立訓練・歩行訓練の進め方I ～すり足の方、体が傾く方、長く歩けない方、 痛みがある方、歩行器の方～ 動きのコツ研究所 代表 理学療法士 生野 達也 氏	実技分科会 B 座位姿勢が崩れる方 (傾き、すり落ち等)へのアプローチ 介護老人保健施設ケアセンター ゆうゆう 作業療法士 安藤 祐介 氏
休憩			
セミナー 4 「認知症」の方の潜在能力を 引き出すアプローチ ～相手の能力を左右する パートナーとしてのあり方を整える～ アプロクリエイト 代表 主任介護支援専門員 ペ ホス 氏	実技分科会 C 楽しく効果のある 新しい認知リハビリ・認知訓練 株式会社脳リハビリネットワーク 代表取締役 清水 孝俊 氏	実技分科会 D 起立訓練・歩行訓練の進め方II ～片麻痺、パーキンソンの方～ 動きのコツ研究所 代表 理学療法士 生野 達也 氏	実技分科会 E 座れない重度者の方に 介護職ができること 介護老人保健施設ケアセンター ゆうゆう 作業療法士 安藤 祐介 氏
休憩			

アルセ		まなびの館ローズコム		
セミナー 7 認知症の方のBPSDを軽減する 正しい評価とアプローチ 株式会社Re学 代表取締役 理学療法士 川畑 智 氏	実技分科会 F 在宅生活に定着する！ 事業所で行うADL・IADL 維持・改善の疑似トレーニング ～目からウロコの楽しい工夫～ 株式会社バイタル 作業療法士 山口 健一 氏	実技分科会 G 脳活性化プログラムを用いた 転倒予防のためのトレーニング 一般社団法人みんなの認知症 予防ネット 理事長 加藤 良江 氏	実技分科会 H 認知症高齢者の 口腔・嚥下機能の評価・ リハビリ・訓練・ケア 大阪大学大学院歯学系研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授 野原 幹司 氏	実技分科会 I 中・重度者、 寝たきりの方への目標設定 シラサギデイサービスセンター 管理者/生活相談員 片山 大嗣 氏
休憩				
セミナー 10 認知症の方のBPSDを軽減する 正しい評価とアプローチ 株式会社Re学 代表取締役 理学療法士 川畑 智 氏	実技分科会 J 身体機能を改善する現場で 人気の新しい集団トレーニング・ 新しいトレーニング 多機能リハビリセンター ありがとう 介護福祉士 川原 つくし 氏	実技分科会 K 脳活性化プログラムを用いた 転倒予防のためのトレーニング 一般社団法人みんなの認知症 予防ネット 理事長 加藤 良江 氏	実技分科会 L 認知症高齢者の 口腔・嚥下機能の評価・ リハビリ・訓練・ケア 大阪大学大学院歯学系研究科 顎口腔機能治療学教室 准教授 野原 幹司 氏	実技分科会 M 中・重度者、 寝たきりの方への目標設定 シラサギデイサービスセンター 管理者/生活相談員 片山 大嗣 氏

11/11 大会プレセミナー

【時間】 10:30～15:30
 【会場】 まなびの館ローズコム

A コース 【参加費】(大会参加者) 10,000円
 (プレセミナーのみ) 20,000円

「生き残る法人になるために」
 【講師】 妹尾 弘幸氏
 (日本通所ケア研究会 会長)

【内容】


- I. 生き残るデイになるために
 - (1)利用者を増やす工夫
 - (2)要介護3～5中心のデイへの移行
 - (3)「本当のデイ」になるためのシステム・プログラムの変革
- II. 生き残る介護事業所になるために
 - (1)ウロウロ制度は迷っても結局デイが中心となる
 - (2)それまでに…複合化・多機能化
 - (3)もしくはグループ化
 (川上～川下でのグループ化、川下でのグループ化)
- III. 生き残る法人になるために
 - (1)介護保険外の介護サービス
 - (2)介護関連サービス
 - (3)介護周辺サービス
 - (4)同時ニーズサービスの実施
 - (5)他
- IV. ビジネスモデル例
- V. 介護制度最新トピックス


B コース 【参加費】(大会参加者) 5,000円
 (プレセミナーのみ) 7,000円


「デイ運営の工夫」
 【講師】 ありがとうグループ
 デイサービス


【内容】


- I. ケアマネ PR の工夫
 - (1)ケアマネ営業の工夫
 - (2)プロモーションツールの紹介
 - (3)ケアマネ体験会での「しかけ」あれこれ
 - (4)ケアマネ体験会へ向けた準備とPRの工夫
- II. プログラムの工夫
 - (1)デイでの新しいプログラムの紹介
 - (2)稼働率の高いプログラム紹介
 - (3)男性利用者に喜ばれるメニュー
 - (4)対応困難な認知症の方への工夫
- III. 手間をかけずに効率的に行う運営推進会議の工夫
 - (1)運営推進会議の進め方
 - (2)地域へのPR、展開方法 ほか
- IV. 利用者増への工夫
 - (1)キャンセル率を減らす工夫
 - (2)事業所のウリをつくる ほか
- V. 残業を減らす工夫
- VI. 書類の工夫
- VII. 情報共有の工夫

特別講演① 12日 10:00~12:00 会場：リーデンローズ	テーマ 地域包括ケアの中でデイに望まれる役割 ～リハビリ・機能訓練・地域拠点・家族支援のこれから～
	講師 宮島 俊彦 氏 (岡山大学客員教授/介護経営学会理事/内閣官房社会保障改革担当室長(非常勤))
<p>デイは介護保険制度の中で転換点を迎えています。持続可能な社会保障制度確保のため、医療介護総合確保法で要支援が地域支援事業への移行になり、単なる預かりデイは、認知症カフェや見守りカフェとの差別化が難しくなってきました。また、リハビリ特化型もフレイル予防の総合事業などの諸事業と差別化を図っていく必要が出てきています。一方で、小規模多機能型居宅介護や24時間訪問看護・介護などが重度化対応の在宅型モデルとしての普及が期待されています。こうした中で、デイの役割をどう考えていくのかを再検討し、今後の進むべき方向性を提示いたします。</p>	
	

特別講演② 12日 13:15~15:15 会場：リーデンローズ	テーマ 介護保険の将来像
	講師 江澤 和彦 氏 (医療法人和香会・博愛会 理事長)
<p>平成12年に介護保険制度が発足し15年間を経て社会に定着すると共に、わが国の介護費用は年々増加し年間約10兆円の希望に拡大しました。現在単年度当たりの介護費用の増加率は約5%前後と高く、介護保険制度の健全なる継続が喫緊の課題となっています。今後軽度者(要支援1~要介護2)への支援のあり方、福祉用具・住宅改修サービスのあり方、利用者の自己負担増、第2号被保険者の加入年齢引き下げによる財源確保などの議論を経て、要介護3~5の利用者がサービス受給の主体となっていきます。合わせて、地域包括ケアの「見える化」システムを活用し、要介護認定率、一人当たり介護費用の市町村における地域差の縮減も盛り込まれる予定です。この問題にどう対応していくのか方向性を提示いたします。</p>	
	

特別講演③ 12日 16:00~18:00 会場：リーデンローズ	テーマ 通所リハと通所介護の将来像 ～通所系サービスに求められるバランスのとれた効果的なリハビリテーションの推進～
	講師 村井 千賀 氏 (石川県立高松病院 主幹/作業療法士/元厚生労働省老健局 老人保健課課長補佐)
<p>通所リハビリテーションは、リハビリテーション(理学療法・作業療法・その他の療法)を提供するものであり、通所介護は家族の介護軽減・本人の社会参加と生活機能の維持を目的に創造されたサービスです。近年、自立支援が叫ばれる中、通所サービスの機能・目的が不明確になりつつあります。「高齢者の地域における新たなリハビリテーションの在り方検討会」に携わった村井氏に、介護サービスに相応しいリハビリテーション提供体制と、地域包括ケアに向けたリハビリテーションの役割と機能、そのあり方についてご提示いただきます。</p>	
	

特別講演④ 13日 10:00~12:00 会場：アルセ	テーマ 次期介護報酬・診療報酬の同時改定に向けて取り組むべき通所介護事業者の新戦略
	講師 小室 貴之 氏 (株式会社楓の風 代表取締役)
<p>次期改正ではより基本報酬が下がり、3つの加算「体制加算」「プロセス加算」「アウトカム評価加算」で「メリハリ」のある報酬改定が加速されそうです。「体制加算」は専門職をしっかりと配置し、過剰介護を防止することで実現しやすくなります。「プロセス加算」は個別機能訓練加算Ⅱの取り組みによって解決します。そして「アウトカム評価加算」においてはアウトカムをどう捉え、どのようなスケールで測ればよいのか。地域包括ケアの「活動と参加」を熟知し、通所介護業界でほとんど見かけない「アウトカム評価スケール」を独自開発し運用し、すでに次期制度改正対策を終え、さらなる質の向上と集客を目指す楓の風グループの実践ノウハウを多数お示しし、次期改正への完全対応策を提案いたします。</p>	
	

特別講演⑤ 13日 13:15~15:15 会場：アルセ	テーマ 生き残る介護事業所となるための戦略
	講師 妹尾 弘幸 氏 (日本通所ケア研究会 会長)
<p>医療・介護同時改定となる次期改定では、要支援の単価25~40%減。要介護度1・2の通所介護・訪問介護の予防事業への移行、2割負担対象者の拡大、福祉用具・生活支援の給付対象外への移行、ケアプランの有料化、デイケア期限制限化等がうわさされています。いずれにも大きな変化が予想され、すべての介護施設・事業所が多なる影響を受けるでしょう。しかし、要介護高齢者は2025年までに急増し、一方介護職員の担い手はそれほど増加は見込めません。介護の需給ギャップは2015~2025年の10年が約3倍となり、2018年には今とは比較にならないスタッフ大不足となります。そのような中で介護事業所として生き残っていくためのヒントを提示いたします。</p>	
	

対象 通所リハ従事者

セミナー 1
12日 ⊕
13:15~15:15

リハビリの効果を上げる!
短時間通所リハの運営と活動・参加に
向けてのプログラムの工夫



大久保 智明氏
介護老人保健施設清苑苑
理学療法士

課題に優先順位をつけ活動・参加に
働きかけるリハビリテーション

ポイント

- ・ ICFの視点
- ・ 評価の実際
- ・ 計画立案の実際
- ・ アプローチの実際
- ・ 運営のポイント

ほか

対象 通所リハ従事者

セミナー 2
12日 ⊕
16:00~18:00

実例から学ぶ!
リハビリテーション会議の工夫



尾崎 大輔氏
医療法人博愛会
介護老人保健施設あれんと
理学療法士

他事業所との連携・医師の協力体制を
築き効率的なリハビリテーション会議

ポイント


- ・ リハビリテーション会議の流れ
- ・ 他事業所との連携
- ・ 効率的にリハ会議を開催するための工夫
- ・ 利用者、家族への説明のポイント
- ・ リハマナ加算Ⅱ算定への取り組み

ほか

対象 生活相談員・介護職

セミナー 3
12日 ⊕
16:00~18:00

ご利用者の潜在能力を引き出し
活動・参加を改善する通所介護計画書の立て方
～ニーズの引き出し方から目標の立て方まで～



山出 貴宏氏
株式会社 NGU 代表取締役
管理者兼生活相談員

ただ「やってもらう」のではなく、
「ケア」を落とした計画書の考え方

ポイント


- ・ 根拠の重要性
- ・ 介護技術と認知症ケアの関係性、重要性
- ・ 潜在能力と意識
- ・ 「自立」と「自律」
- ・ 通所介護計画書の考え方

ほか

対象 介護職・看護職・リハビリ職

セミナー 4
12日 ⊕
16:00~18:00

「認知症」の方の潜在能力を
引き出すアプローチ
～相手の能力を左右するパートナーとしてのあり方を整える～



べ ホス氏
アプロクリエイト 代表
主任介護支援専門員

認知症の方の持っている力を
引き出すための「観点」を増す

ポイント


- ・ 相手の力を引き出す人・引き出せない人
- ・ 「認知症」という条件がわたしたちにもたらすもの
- ・ 「認知症」によって奪われる能力発揮の機会
- ・ 3つの「力」からひも解くアプローチ
- ・ 存在承認としてのアプローチ

ほか

対象 通所・訪問リハ従事者

セミナー 5
13日 ⊕
10:00~12:00

通所と訪問リハが混ざると面白い!
通所リハと訪問リハの連携
だからこそできる活動・参加への工夫



下村 美穂氏
通所リハビリテーションみなみの風
管理者/作業療法士

通所の強みと訪問の強みを合わせ
ると在宅生活の可能性が広がる

ポイント


- ・ 通所、訪問それぞれの強みを知る
- ・ 生活行為向上リハビリテーション算定の工夫
- ・ 通所・訪問の協業プラン在り方
- ・ アセスメントからプランニングまでの思考過程
- ・ 事例紹介(通所リハ、訪問リハ、併用)

ほか

対象 生活相談員・介護職・リハビリ職

セミナー 6
13日 ⊕
10:00~12:00

効果を出すための
通所介護計画と個別機能訓練の立て方
～違いと居宅支援計画との関係性～



梅田 典宏氏
株式会社ジエネラス 理学療法士
デイサービス職員 管理者

各計画書を事務作業にしない考え方
と使い方

ポイント


- ・ ケアプランは総合計画
- ・ 通所介護計画書は方針
- ・ 個別機能訓練計画書は具体的なアプローチ
- ・ それぞれの使い方は?
- ・ 通所サービスの特性を最大限に生かす

ほか

対象 介護職・看護職・リハビリ職

セミナー 7・10
13日 ⊕
10:00~12:00
13:15~15:15

認知症の方の BPSD を
軽減する正しい評価とアプローチ



川畑 智氏
株式会社 Re 学 代表取締役
理学療法士

「どうしよう?」から「こうしよう!」へ
評価から見えてくるケアのヒント

ポイント


- ・ 認知機能スクーリングで早期アプローチ
- ・ 4大認知症スクーリングからリハ&ケアを考える
- ・ 認知症の重症分類から見る予後・予測
- ・ BPSD の数値化とトリガー分析
- ・ 「不安、不満、不信、不穏」の流れを断つ

ほか

対象 認知症ケア・リハビリに携わる方

セミナー 8
13日 ⊕
13:15~15:15

認知症に対するリハビリの工夫



牛尾 容子氏
介護老人保健施設ゆうゆうの園
作業療法士主任 / 認知症介護指導者

認知症の方が行いやすい「環境設定」
「成功体験」「やりがい」「楽しみ」の工夫


ポイント

- ・ 認知症リハビリの目的「何の為にやるのか?」
- ・ 具体的なプログラム例
- ・ それを効果的にして実践するポイント
- ・ 他の施設はどのように行っているのか?
- ・ 地域をリハビリしていく「地域活動」について

対象 管理者・生活相談員・介護職

セミナー 9
13日 ⊕
13:15~15:15

ご利用者を支える仕組みづくり
～家族支援、相談のポイント、ボランティアの育成と活用～



高瀬 比左子氏
未来をつくる keigo カフェ 代表
介護支援専門員

地域とのつながりづくりとしての
介護カフェの開催と運営

ポイント


- ・ 地域との連携のコツ
- ・ 資源の活かし方
- ・ カフェ型のつながり方
- ・ 地域で求められる対話力
- ・ 介護の発信力

ほか

12日 ⊕
18:30~20:30

参加者懇親会・交流会
(フリーフード・フリードリンク)

美味しい食事で親睦を深める毎年大好評の懇親会です。普段は関わることのない講師陣への質問・参加者の皆さまとの情報交換の場として、ぜひご参加ください。



参加費 4,000円 (飲食代含む)

会場 アルセ

その他 事前申し込みが必要です。
立食パーティー式 (ビュッフェ形式)

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **A**
12日 ⊕
13:15~15:15

起立訓練・歩行訓練の進め方(I)

～すり足の方、体が傾く方、長く歩けない方、痛みがある方、歩行器の方～



生野 達也氏
動きのコツ研究所 代表
理学療法士

「頑張るだけ」の訓練からの卒業効果に繋がるアセスメントー実施のサイクル

ポイント

- ・起立・歩行訓練の基礎知識
- ・起立・歩行訓練の進め方
- ・各症状におけるアセスメントのポイント
- ・起立・歩行介助の実技
- ・起立・歩行におけるコツの指導 ほか

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **C**
12日 ⊕
16:00~18:00

楽しく効果のある 新しい認知リハビリ・認知訓練



清水 孝俊氏
株式会社脳リハビリネットワーク
代表取締役

脳機能を活性化させ、情報伝達を衰えさせないためのリハビリ

ポイント

- ・認知症発症の原因
- ・認知症の方は記憶を引き出せないだけで記憶はしている
- ・脳が不活発になる前に行いたい脳リハ
- ・脳機能検査法を定め、レベルを共有する
- ・脳リハビリネットワークで行っているリハビリを体験

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **E**
12日 ⊕
16:00~18:00

座れない重度者の方に介護職ができること



安藤 祐介氏
介護老人保健施設ケアセンター
ゆうゆう 作業療法士

あらゆる座位トラブル解決のカギは「全身」にある!

ポイント

- ・1年寝たきりだった方が、たった1日で座れるようになった理由
- ・サイドサポート&滑り止め&マクラは座位三大悪
- ・重度の傾き&すり落ち&頭の反りを速やかに解決する方法
- ・未来の座位につながる「座り直し介助」テクニック
- ・高機能車いすを無償かつ大量に入手する方法

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **G・K**
13日 ⊕
10:00~12:00
13:15~15:15

脳活性化プログラムを用いた 転倒予防のためのトレーニング



加藤 良江氏
一般社団法人みんなの認知症
予防ネット 理事長

脳の中から準備をしていき自然に楽しく転倒予防ができる

ポイント

- ・脳活性化ゲームを進めながら、頭と心と体の準備
- ・脳活性化ゲームの中での自然なトレーニング
- ・楽しんでいない、できない方へのフォロー
- ・同じゲームやトレーニングが重要
- ・みんなの認知症予防ゲームを体験 ほか

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **I・M**
13日 ⊕
10:00~12:00
13:15~15:15

中・重度者、寝たきりの方への目標設定



片山 大嗣氏
シラサキデイサービスセンター
管理者/生活相談員

「利用法」を「療法」に変えるための目標設定と評価方法

ポイント

- ・中・重度だからこそ短期目標の期間を3ヶ月に設定
- ・園芸利用法と芸術利用法と音楽利用法の紹介
- ・調理利用法と家事利用法の紹介
- ・それぞれの利用法を療法に変える目標と評価ツール
- ・目標によってケアが決まり、ご利用者の人生が変化する

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **B**
12日 ⊕
13:15~15:15

座位姿勢が崩れる方 (傾き、すり落ち等)へのアプローチ



安藤 祐介氏
介護老人保健施設ケアセンター
ゆうゆう 作業療法士

座位が崩れる原因を
ご利用者のせいにしない!

ポイント

- ・たった3つの道具で、座位は劇的に心地よくなる
- ・「正しく座る」という固定観念を根底からひっくり返す!
- ・「座位は崩れる」を大前提とした「1分」シーティングとは
- ・古臭い車いすの方が、実は快適に座れる秘密
- ・座位が崩れる理由が一瞬で判明する裏技テクニック

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **D**
12日 ⊕
16:00~18:00

起立訓練・歩行訓練の進め方(II)

～片麻痺、パーキンソンの方～



生野 達也氏
動きのコツ研究所 代表
理学療法士

効果を出すために病気を「知る」
疾患に応じた具体的な訓練方法

ポイント

- ・片麻痺における起立・歩行の問題
- ・パーキンソン病における起立・歩行の問題
- ・各疾患におけるアセスメントのポイント
- ・起立・歩行介助の実技
- ・起立・歩行におけるコツの指導 ほか

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **F**
13日 ⊕
10:00~12:00

在宅生活に定着する! 事業所で行うADL・IADL 維持・改善の 疑似トレーニング

～目からウロコの楽しい工夫～



山口 健一氏
株式会社バイタル 作業療法士

在宅生活を改善するプログラムや
継続してもらうためのアイデア

ポイント

- ・すぐに取り組みめるADL・IADL訓練
- ・「できるイメージ」を持つためにすること
- ・「できないイメージ」をシフトさせるコツ
- ・ニーズを聞きだすコツ
- ・デイで行う料理訓練の工夫 ほか

対象 介護職・看護職・歯科衛生士

実技分科会 **H・L**
13日 ⊕
10:00~12:00
13:15~15:15

認知症高齢者の口腔・嚥下 機能の評価・リハビリ・訓練・ケア



野原 幹司氏
大阪大学大学院歯学研究所
顎口顎機能治療学教室 准教授

認知症は原因となる疾患によって
嚥下障害の症状が全く異なる

ポイント

- ・嚥下機能について
- ・食支援について
- ・認知症の方の口腔機能・嚥下障害
- ・アルツハイマー型認知症の方の口腔・嚥下
- ・レビー小体型認知症の方の口腔・嚥下 ほか

対象 介護職・リハビリ職

実技分科会 **J**
13日 ⊕
10:00~12:00

身体機能を改善する現場で人気の 新しい集団トレーニング・新しいトレーニング



川原 つくし氏
多機能リハビリセンターありがとう
介護福祉士

ご利用者自ら残存機能を維持・向上
させるためのきっかけづくり

ポイント

- ・目的別に行う集団トレーニング
- ・症状別に行う集団トレーニング
- ・楽しみながら出来る集団トレーニング
- ・ご利用者同士の関わりによるトレーニング
- ・ご利用者自ら行うトレーニング ほか

お申し込みにあたっての注意事項 ※お申し込みの前に必ずお読みください。

■参加区分の選択について

定員に達した場合は希望の特別講演・セミナー・実技分科会に参加できませんのでご了承ください。

1 11月11日(金)の「大会プレセミナー」「市民公開講座」について

参加を希望される方は「希望コース」または「希望講座」に○をつけてください。※市民公開講座は複数講座の選択が可能です

2 11月12日(土)の「特別講演①」(10:00~12:00)について

「参加する」「参加しない」のどちらかに○をつけてください。

3 11月12日(土)の「特別講演」「セミナー」「一般演題発表」「実技分科会」(13:15~15:15)について

「特別講演②」「セミナー①」「一般演題発表」「実技分科会 A・B」より1つを選択し○をしてください。

4 11月12日(土)の「特別講演」「セミナー」「一般演題発表」「実技分科会」(16:00~18:00)について

「特別講演③」「一般演題発表」「セミナー②③④」「実技分科会 C・D・E」より1つを選択して記載してください。

5 11月13日(日)午前・午後の「特別講演」「セミナー」「実技分科会」について

※「セミナー」「実技分科会」の午前・午後ともに同じテーマのものは、同じ内容になります。

[午前] 10:00~12:00

「特別講演④」「セミナー⑤⑥⑦」「実技分科会 F・G・H・I」より1つ選択して記載してください。

[午後] 13:15~15:15

「特別講演⑤」「セミナー⑧⑨⑩」「実技分科会 J・K・L・M」より1つ選択して記載してください。

6 11月13日(日)の「市民公開講座」(10:30~15:00)について

「希望講座」に○をつけてください。※市民公開講座は複数講座の選択が可能です

■お弁当

日程 11月12日(土)・13日(日)

料金 各日 700円 (お茶代込み)

その他 要事前申し込み

※リーデンローズの近隣にはショッピングモールがありますが大変込み合うため、お弁当のご利用をおすすめします。

※お弁当は各会場にてお渡しいたします。

※リーデンローズはホール内での飲食はできません。昼食会場をご用意いたしますのでご利用ください。



■参加者懇親会

おいしい食事と楽しく充実した参加者同士・講師の方と親睦を深める懇親会を企画しました。皆さま是非ご参加ください。

日時 11月12日(土) 18:30~

会場 アルセ

参加費 4,000円 (飲食代含む)

その他 事前申し込みが必要です。

立食パーティー式 (ビュッフェ形式)



■キャンセルについて

- 参加をキャンセルされる場合は、必ず事務局までお申し出ください。
- キャンセルのご連絡がない場合は100%のキャンセル料をいただきます。
- ご入金後の参加費のご返金はできませんが、参加者および申し込み内容の変更、大会抄録・資料などの送付はいたします。

■お申し込み方法

- 次ページの「大会お申し込み書」に必要事項をご記入いただき、大会事務局まで FAX または郵送してください。
- 大会公式ホームページ(「通所ケア大会」で検索)からもお申し込みいただけます。
- お申し込み確認後、「ご入金のご案内」を郵送にてお送りいたします。
- お申し込み後、1週間経っても「ご入金のご案内」が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- 大会当日にご持参いただく参加券等の書類は、ご入金確認後10月中旬を目途に送付いたします。
- 講座内容によっては材料費が別途必要となる場合がございます。その場合は参加券に記載いたします。
- 「宿泊」のご相談がある場合は、旅行取扱業者を斡旋いたします。
- 「各セミナー」「分科会」が定員に達した場合は、ご参加いただけませんので、お早めにお申し込みください。

●お弁当のキャンセル料について

ご連絡日	お弁当
開催1週間前まで	無料
1週間~3日前まで	お弁当代金の50%
3日前~当日	お弁当代金の100%

大会ホームページ <http://www.tsuusho.com/meeting/>

通所ケア大会

検索

